

成績向上に必要な「分かる⇒解く⇒できる」を可能にする学習システムこそ、家庭教師 ～全体最適化を考慮した「5W1H」 strategy～

①既存の予備校・塾 ≤ 家庭教師の理由

受験で出題される内容は限定されている。故に、「**現状の学力とGoalとの乖離**」をうめる事が成功へと繋がる。最難関の受験といわれている医学部受験とて同じである。しかし、大半の受験生は、**膨大な努力にもかかわらず成績が伸びず苦しんでいる**。様々な教育サービスが流布しているにもかかわらずだ。特に、不特定多数の生徒を抱える塾・予備校においてその傾向が見受けられる。

それは何故か—①【学習面】マス教育のデメリットである「**目の粗いカリキュラム**」②【環境面】「**個々人の生活リズム・学習スタイル**」を無視した指導システムがと考える。つまり、**集団教育の弊害**である。もちろん、集団教育が全く不必要ということではない。不特定多数の生徒対象に学力のボトムアップを図る際は有効な手段である。集団生活することの大切さ—社会的な意義—も当然ある。

しかし、マス教育では、受験で勝利を収めるのは困難である。特に、熾烈を極める医学部受験の場合は、**子供の現状と目標大学とをダイレクトにつなげるデリケートな戦術・指導**が要諦であるからだ。また、生徒が問題を解けるためには、「**分かる⇒解く⇒できる**」の3つのプロセスを踏まねばならないが、塾・予備校では、**第一段階の「分かる」にとどまる**。これを証明する事例がある。通常、東大模試の結果で浪人生と現役生の平均点は、現役生の得点が高い。浪人生が「**2度目の学習で、予備校で受験対策の授業**」を受講しているにもかかわらずだ。逆に、「**小学校の授業**」は上記のプロセスをしっかりおさえている。例えば、掛け算の九九を皆さんはどのようにマスターしたか？理屈を聞いて理解し、繰り返し自分で解き（暗唱し）、できるまで繰り返しトレーニングさせられたのではないか？それがゆえ、大人になっても日常生活で計算の際きちんとつかえている。よって、学習する際は「教えること」だけに傾注しては駄目で、その先の「**解く⇒できる**」まで意識した学習指導・管理が要諦となってくる。

更に、上記の教育を稼働させる為に、「**子供たちの置かれた学習環境**」も考慮する必要がある。つまり、ハード面の整理である。例えば、ある科目はA予備校・またある科目はB家庭教師…と生徒がよいと思う先生・システムを採用している方がいる。それ自体はよいのだが、問題は「結果としてGoalと繋がっているのか」「『**分かる⇒解く⇒できる**』のサイクルはできているのか」ということである。要は「**部分最適化**」ばかりを追い求め、肝心の「**全体最適化**」を見失っているのではないかということである。

②家庭教師ならではの「5W1H」教育システム

マンツーマンの授業はとても有効的な教育システムである。ただし、それには条件がある。それは

Goalへの「設計図」と「方法論」を基盤とし、子供の現状に合わせ、
「分かる⇒解く⇒できる」の仕組みづくりが要諦である。

殊に、医学部受験への対応をする際には。我々が家庭教師のスタイルを貫くゆえんはここにある。では、どのようにしてこの仕組みを構築していくか。私たちは5W1Hを基盤に生徒の学習スタイルを提案する。

TOP LEVEL SUCCESS 医学進学館 5W1Hコンセプト

when(いつ) 部活などで忙しくても、勉強時間を確保。休日・夜間問わず伺います

Where(どこで) 一番自分の勉強ができる場所—家庭学習の充実をお手伝い

who(誰が) 「自分でできる」ようにさせるプロ講師。2時間無料体験で体感してください

what(何を) その都度、「合格に必要な学習」を明示→「自分で解いてできるまで」実施

why(なぜ) 「モチベーション管理」は、コーディネーターが定期的に面談・報告

How(どうやって) 設計図を元に「科目・単元」の攻略を伝授。プロならではの技

③私たちの願い

「勉強はやればできる」—この言葉を多くの大人が多用し、子供たちもその教えを受けて育ってきたと思います。「石にかじりついて」というくらい勉強をすること——受験は範囲が定まっているため、これがすべてといっても過言ではありません。

しかし、生徒はそれがわかっているにもかかわらず、動き出せない。それは、「何を」「いつまでに」「どうやって」勉強すればいいのかわからないからと考えます。特に、情報が氾濫している昨今、その取捨選択の地点で生徒たちは混乱しており、結果、「やる気」という自身のエネルギーが消えていってしまうのではないかと思います。

私たちは、その子供たちの“水先案内人”になりたい。現状から栄光のゴールに向かう途中の「立ちはだかる難問」に対し、ともに攻略していきたいと考えます。それらを可能にするために、「講師の鍛え抜かれた“指導力”と、コーディネーターによる“環境構築力”」が要諦であると考えます。

つまり、「講師」「コーディネーター」「教材」…これらはあくまでキャストであり、**全体のシナリオを基盤**にして子供たちを合格へと導く——これらを可能にする教育システムこそ、マンツーマンの家庭教師であると考えます。

子供たちの抱えている悩み・状態は千差万別です。もし、医学部受験について、お困りの点があれば下記までご相談ください。テストやカウンセリング・受験情報をもとに、「子供たちの成功へのシナリオ・システム」についてご説明差し上げます。

TOP LEVEL SUCCESS 医学進学館



〒106-0032 東京都港区六本木7-3-8 永谷ヒルプラザ六本木213 e-mail info@toplevelsuccess1.com